広報 2025 8月
No.1276 第1金曜日号

ひらつか

道に歴史あり

8月10日は、道の日です。

私たちの日常生活に欠かせない道は、昔も今もさまざまな用途で使われています。
写真の道は、明治20年に平塚駅が開業してから、大山に向かうために多くの人々が通ったといわれる大山道（岡崎から北豊田にかけて架かる新白髭橋付近）です。
かつての大山道は、現在も私たちの生活を支える道路として大切な役割を果たしています。

目次

1～3面… 特集 平塚を貫く大山道…私たちが普段何気なく通っている道にも歴史があります。
大山参拝のために人の往来が多かった市内の大山道を、道標と共に紹介します。
4～7面…募集・お知らせ・健康と福祉・スポーツ「広げよう #あったかひらつか」
8面…ヒラツカルチャー「ひらしん平塚文化芸術ホールへ行こう」
ひらつか議会だより

平塚市の推計人口と世帯数
＜令和7年7月1日現在　（　）内は前月比＞

人　口 257,853人…(+45)
世帯数 119,220世帯…(+153)

●発行　平塚市　●編集　広報課　●法人番号 3000020142034　〒254-8686 神奈川県平塚市浅間町9番1号 ☎0463-23-1111 FAX0463-23-9467

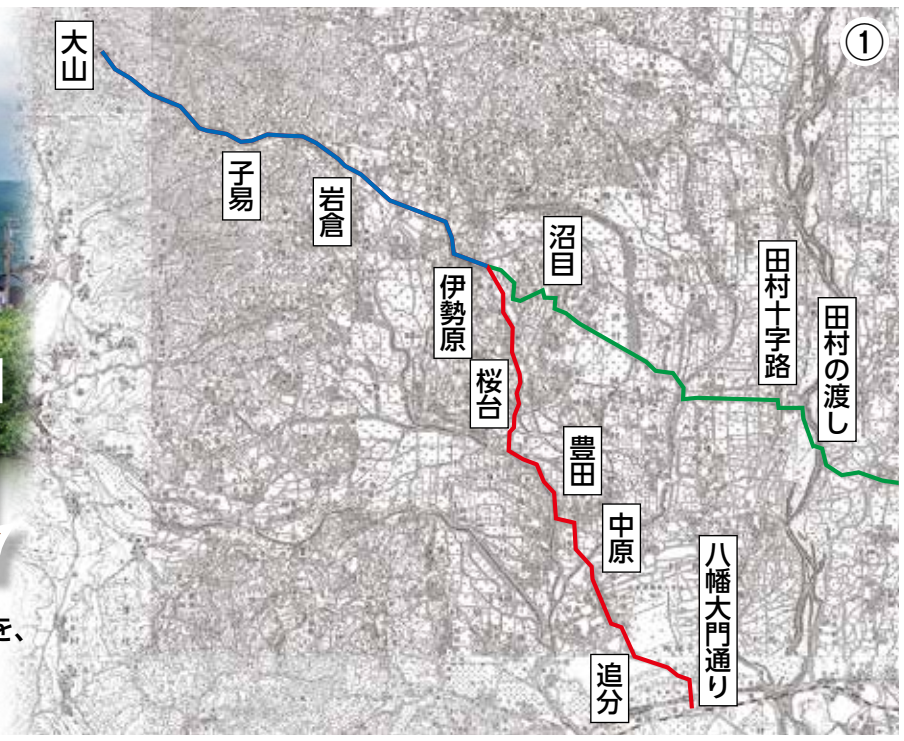
●配布のお問い合わせは、ミッド ☎0120-350311（月～金曜日、午前9時30分～午後5時）

平塚を貫く 大山道

今号では、大山参拝のために人の往来が多かった市内の大山道を、当時の痕跡を今に伝える道標と共に紹介します。

問　博物館☎33-5111

「今昔マップ on the web」より作成



市内を通った主要な大山道。緑色の線は田村通大山道、赤色の線は伊勢原道。伊勢原市内で合流して大山へ続く（青色の線）

広く信仰された霊山「大山」

市内には、江戸時代から昭和時代初期にかけて、人々の往来が盛んだった道があります。平塚からもよく見え、私たちにとっても身近な大山に向かう「大山道」です。大山は古くから山岳信仰の対象でした。信仰者は、大山が見られる平塚周辺の地域だけでなく、関東一帯、福島県南部や新潟県南部、長野県の中信・北信、静岡県西部にまで広がっていました。多くの人々から信仰されていたため、大山に向かう道も、にぎわいました。

大山詣（もうで）が大流行

「雨乞（あまご）い、豊作、豊漁、商売繁盛などの祈願のために、山頂で参拝することが庶民の間で一般的となっていました」と説明する市博物館の福田麻友子学芸員（右下写真）。最も基本的な信仰は、雨乞いです。大山は雲に覆われていることが多く、雨が降りやすいため別名「雨降山（あふりやま）」と呼ばれ、農村部を中心に信仰されていました。また、江戸から2・3日ほどで参拝できる距離の近さも、人気を博した理由とされています。

「現在は一年中、頂上に登れますが、江戸時代は旧暦6月27日～7月17日（現在は7月27日～8月17日）の夏山開山の時期だけでした。それ以外の期間は、現在の阿夫利神社下社の場所にあった大山寺までしか行けなかったんです」と福田学芸員は話します。ピーク時には、市外を通る別の大山道からの参拝客を含め、夏山開山の20日間で20万人が参拝に訪れたといわれています。大山詣は当時の一大ブームだったのです。

博物館の展示で、田村通大山道を指さす福田学芸員

田村通大山道（たむらどおりおおやまみち）

大山詣が盛んになると、大山へ続くさまざまな道が大山道として利用されました。市内を通る大山道で人々の往来が多かったうちの一つが、田村通大山道（地図①・緑色の線）です。田村通大山道は、主に大山詣を終えて江島弁財天へ向かう人々に使われました（左下囲み）。市内では、大島の土安橋付近から東に進み、横内交差点、田村十字路を通って相模川を渡るための田村の渡し（右下囲み・現在の神川橋付近）までの道筋です。

田村にある旧田村十字路（右下写真）には現在も道標が建っています（下写真）。正面には「右　大山みち」、右面には「左　不じさ王（藤沢）　江のしま　加満くら（鎌倉）ミち」、裏面には「右　大いそ道」と刻まれています。道標に刻まれた向きからして、同十字路の中央付近に、東向きに置かれていたと考えられています。また、八坂神社（田村8―21―30）にも当時の道標が残っていて、はっきりと大山の文字が確認できます（右写真）。正面には「左　大山道」、左面には「右　江之嶋みち（江の丶

② 国土地理院　地理院地図に緑線と星印を加筆

参拝の移り変わり

大山には男性の神様「大山祇神（おおやまつみのかみ）」が祭られています。江戸時代初期には、男性の神様（大山祇神）を参拝したら、女性の神様「木花咲耶姫命（このはなさくやひめのみこと）」が祭られている富士山も参拝するべきとされていました。

江戸時代中期以降、庶民の旅行が増えると、大山と江島弁財天を参拝する旅行も流行していきました。江島弁財天は女性の神様が祭られているので、富士山参拝の代わりとなったのです。江島弁財天の近くにある観光地へ寄り道できることも流行の理由で、大山と江の島を結ぶ道として、田村通大山道は多くの人々に使われるようになりました。

参拝時の格好

かつては、多くの地域に大山講という集まりが結成されていました。講の人々は、一般的に行衣（ぎょうい）（写真）を着て、頭に鉢巻きをし、登山用のつえをついて参拝しました。写真は、東京の大山講が着ていた行衣で、市博物館に寄贈されました。

相模川を渡る田村の渡し

田村通大山道は、相模川を越える必要がありました。現在のように橋が架かっていない時代。そのために使われていたのが田村の渡しです。渡し場は、神川橋から南に約50メートル下ったところにあったとされ、小さい船を操る船頭（せんどう）5・6人が人々を対岸に運びました。

渡し場があった場所には石碑が建っている

知っていますか？ 愛称の付いた市道

市内には、愛称の付いた市道が複数あります。
そのうちの3路線を、昭和時代に撮影されたモノクロ写真と共に紹介します。

フェスタロード

平成5年2月愛称認定。路線延長357.6㍍。市制60周年の記念事業として、愛称を募集し選考しました。英語のFestal（フェスタル）が由来で、「祭りの」「陽気な」という意味から取られました。平塚駅北口から国道1号の交差点までの平塚を代表する道の一つです。現在と比べても、幅員などは変わっていないことが分かります。

昭和51（1976）年6月

◀令和7（2025）年7月

文化公園通り

昭和44（1969）年11月▶

◀令和7（2025）年7月

昭和57年7月愛称認定。路線延長382.0㍍。市制50周年の記念事業として整備された文化公園と浅間緑地を結ぶ道として誕生しました。平塚駅から海軍火薬廠などへ資材を運ぶ引き込み線が、戦後も残っていました。

現在、文化公園に展示されている052機関車は国鉄から引き継がれた車両です。引継式（上写真）に写っている線路の両側の建物は、江陽中学校の校舎、市役所別館として現存しています。

イチョウ並木通り

平成5年2月愛称認定。路線延長810.0㍍。市制60周年の記念事業として、愛称を募集し選考しました。イチョウが両側に並んでいたことから決まりました。平塚郵便局前交差点から横浜ゴム南側を通る、追分交差点までの道路です。現在と比べると、幅員が狭かったことが見て取れます。

昭和41（1966）年9月▶
◀令和7（2025）年7月

伊勢原道（みち）

明治20年に平塚駅が開業してからは、伊勢原道（地図①・↙島）　左　いやまみち（厚木市の飯山）」とあり、同十字路から130㍍ほど北（地図②の★印）に建っていたと推察されています。現在の同十字路は、南北に幹道2号四之宮厚木線、東西に県道44号伊勢原藤沢線が通る十字路ですが、当時は丁字路でした（地図②・緑色の線）。田村通大山道を通る人々は、神田小学校南側の通りを道標の位置と同十字路で曲がり、田村の渡しへと向かっていきました。

③　国土地理院　地理院地図に赤線と星印を加筆

赤色の線）が大山詣の主要な道になりました。伊勢原道は、平塚駅を出て大門通りを北上し、平塚八幡宮から西へ進み追分交差点を北上した後、中原や豊田を通り大山へ向かう道筋です。「昭和2年に小田急線の伊勢原駅が開業するまで、平塚駅は大山の最寄り駅だったんです」と福田学芸員。東京方面から大山詣に来た人々は、平塚駅で下車し、徒歩・人力車・馬車などで大山へ向かいました。夏山開山の期間は地元だけでなく、出稼ぎのため市外からも人力車を引く車夫（しゃふ）らが集まり、約100台の人力車が人々を迎えていたともいわれています。

日枝神社（中原3―20―16）には、現在の六本交差点（地図③の★印）付近に建っていたとされる道標（左写真）が残っています。正面には「庚申（こうしん）供養塔　大山道」、右面には「右　ひらつか　大いそ」、左面には「左　ステーションショ道」と刻まれています。ステーションとはステーションの（平塚駅）のことで、平塚駅が大山へ向かう際の起点となっていたことが分かります。清雲寺（豊田本郷1760）にも、

④　国土地理院　地理院地図に赤線と星印を加筆

現在の豊田本郷駅バス停付近（地図④の★印）に建っていたとされる道標（右写真）があります。正面に「右糟屋　左大山」とあり、南を向いて建っていたと考えられます。道標は主に道路の分岐点に置かれ、人々を目的地へと導いていたのです。

道が街をつなぐ

明治29年に発行された『平塚繁昌記（はんじょうき）』には、「数百の旅客出入りたへず」ともあり、市内を通る大山道は、人の往来が盛んだったことが伺えます。福田学芸員は「夏山開山の時期は特に人が多かったので、車夫だけでなく駅前の旅館なども大山詣に来た人々を呼び込んでいたことでしょう。近代平塚の発展に、大山の存在は大きかったと思います」と話します。

田村通大山道も伊勢原道も、おおむね道筋を変えずに今日まで人々の移動を支えています（1面写真）。夏山開山に当たるこの時期に、市内の大山道から、当時の人々が大山詣の道中で見た景色を思い浮かべてみては――。

道路ふれあい月間パネル展

道路整備や維持管理の取り組みをパネルで紹介します。私たちにとって身近で必要不可欠な道を、これからも残していくために必要な取り組みを学びませんか。

8月27日（水）～29日（金）、午前8時30分～午後5時（29日は3時まで）。本館1階多目的スペース。

問　道路管理課☎21-9846

平塚市・東海大学　交流提携40周年

問　企画政策課☎21−8797

市と東海大学が交流提携を結んで、本年で40年を迎えます。市民と大学の新たな交流の場をつくるため、1年間を通して八つの記念事業をします。

①ひらつかタマ三郎漁港の擁壁に作画

東海大学の学生と地域の子どもたちが、ひらつかタマ三郎漁港の臨港道路擁壁に「ひらつかタマ三郎」などの絵を描きます。ひらつかタマ三郎は東海大学の学生がデザインした、漁業PRキャラクターです。

②農業理解・地産地消の推進イベント

「ベジ太」がテーマのイベントを企画し、TOKAIグローカルフェスタに出展します。ベジ太は東海大学の学生がデザインした、農産物PRキャラクターです。

③平塚競輪×東海大学 未来の競輪選手を発掘!

東海大学の建学祭で、平塚競輪がワットバイク体験ブースを出展します。さまざまなスポーツで多数実績のある東海大学の学生に競輪の魅力を周知し、未来の「平塚発の競輪選手」の誕生につなげます。

④心のバリアフリーを育むPR製品の共同開発

東海大学の学生のアイデアを基に、ひらつか障がい者福祉ショップ「ありがとう」の各事業所の販売製品を共同で開発します。

⑤障がいのある方を理解するためのイメージキャラクターをデザイン

障がいのある方を理解するきっかけとなるようなイメージキャラクターを、東海大学の学生がデザインします。

⑥東海大学の学生による市図書館資料の紹介POP・サービス活用案の展示

東海大学の学生と市図書館関係者が、共同で図書館サービスの一部を検討して活用案を展示します。

サービス活用案の展示　8月1日(金)〜31日(日)。中央図書館(浅間町12−41)。

⑦スポーツフェスタで野球教室

中学生が対象のスポーツ競技教室「スポーツフェスタ」で野球教室を開きます。東海大学運動部の学生や監督・コーチが指導します。

⑧湘南ベルマーレのホームゲームを東海大学チアリーディング部が応援

湘南ベルマーレのホームゲームで、東海大学のチアリーディング部が実演します。

FC東京戦。8月16日(土)。レモンガススタジアム平塚(大原1−1)。雨天の場合は9月23日(祝)川崎フロンターレ戦に延期。

東海大学湘南キャンパス内のケヤキ並木

募集

応募方法は右側

明るい選挙啓発標語

私たちの生活を豊かでより良いものにするためには、一人一人が政治や選挙に関心を持ち、投票に参加することが必要です。有権者や市民に選挙の大切さを呼び掛け、明るく正しい選挙を推進するのに役立つ作品を応募しませんか。応募者には参加賞を、入賞者には表彰状と副賞を贈呈します。

市内在住・在勤・在学で高校生以上の方。1人3点まで。年齢・市外在住の場合は市内の在勤・在学先を、はがき・メールで、**選挙管理委員会事務局**☎21−8795✉senkan@へ。メールは件名を「明るい選挙啓発標語」に。

応募　8月1日(金)〜9月30日(火)に、作品・**必要事項**・**令和6年度の一般の部最優秀賞**「推しに一票　私の想(おも)いを　リクエスト(林留美子さん)」。

就活応援相談

「応募書類の書き方が分からない」「面接で緊張してしまう」「就活のやり方が分からない」といった、就職活動にまつわる悩みを相談しませんか。キャリアコンサルタントや産業カウンセラーなど、就労支援の専門家が支援します。保護者も相談できます。

Zoomでも面談できます。

8月5日〜26日の火曜日、午前10時・11時・午後1時・2時・3時(各回50分)。勤労会館(追分1−24)、5日は中央公民館(追分1−20)。15〜49歳の就労を目指す方または家族、各回3組(先着順)。

応募　電話で、**県西部地域若者サポートステーション**☎0465−32−4115へ。

多肉植物寄せ植え教室

簡単にできる、多肉植物の寄せ植えを作って楽しみませんか。

8月28日(木)午前10時〜正午。ひらつかサン・ライフアリーナ(中堂246−1)。小学生以上の方24人(先着順)。室内履き・持ち帰り用の袋。1800円。

応募　8月4日(月)午前10時から、電話または直接、中堂246−1**馬入ふれあい公園管理事務所**☎25−0011へ。

応募方法

- **応募**のある記事は事前に応募が必要です
- **必要事項**は郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号です
- メールの場合、✉@以下に、city.hiratsuka.kanagawa.jpを付けてください
- eは、電子申請システム(e−kanagawa)。右の2次元コードからもアクセスできます
- 市役所への郵便物は、〒254−8686平塚市役所○○課で届きます
  市役所の開庁時間は、午前8時30分〜午後5時です

約3,000発の花火が平塚の夜空を彩ります。

荒天の場合は24日(日)に延期。湘南潮来(いたこ)(相模川河口)。4,000円〜2万円の有料の観覧席があります。チケットなど、詳しくは市ウェブをご覧ください。

問　商業観光課☎35−8107

ネーミングライツパートナーになりませんか

湘南ひらつかビーチパーク（写真）のネーミングライツパートナーになって、愛称を付けませんか。愛称に企業名や商品名を付けて宣伝できます。詳しくは、市ウェブをご覧ください。募集期間は9月12日（金）までです。

問　資産経営課☎21-8763

市民演劇フェスティバル

各日3団体が出演します。出演団体など、詳しくはまちづくり財団ウェブをご覧ください。

9月27日（土）・28日（日）、午後1時30分開演。中央公民館（追分1-20）。各日700人。小学生以上500円（両日とも学生の部は入場無料）。チケットは8月2日（土）午前10時から、まちづくり財団ウェブなどで販売します。9月20日（土）午後5時まで、同財団に電話で予約もできます。

問　まちづくり財団文化事業課☎32-2237

湘南ひらつか第九のつどいの合唱団員

ドイツ語の歌詞を暗譜し、平塚フィルハーモニー管弦楽団やプロのソリストらと共に『第九』を歌います（写真）。合唱団員として演奏会を作り上げませんか。練習時間や参加条件など、詳しくはまちづくり財団ウェブをご覧ください。

練習は9月27日（土）～12月10日（水）、全10回。前日リハーサルは12月13日（土）・本番の公演は14日（日）。ひらしん平塚文化芸術ホール（見附町16-1）。中学生以上の方150人（先着順）。1万円、学生5,000円。

応募　8月2日（土）午前9時から、見附町31-10**まちづくり財団文化事業課**☎32-2237などにある参加申込書と参加同意書（学生は学生証も）に参加費を添えて、直接、同課へ。

お知らせ

宝くじの助成金でコミュニティー備品を整備

大神自治連合会が、自治総合センターの宝くじ助成金でコミュニティー備品を整備しました。自治総合センターでは社会貢献広報事業として、宝くじの収益金を利用し、さまざまなコミュニティー活動を応援する助成事業を進めています。

問　**協働推進課**☎21-9618

やぐらなどを整備

競輪場のイベント

平塚ケイリンDANCEフェスティバルを開きます。市内ダンススクールのキッズダンサーや、世界大会優勝ダンサーのパフォーマンスを楽しみませんか。出演者や時間など、詳しくは平塚競輪場ウェブをご覧ください。

8月16日（土）・17日（日）、午前9時～正午。ABEMA

児童扶養手当などの現況届を忘れずに

児童扶養手当や特別児童扶養手当を受給している方は、現況届を本館1階こども家庭課に提出してください。提出期間は、児童扶養手当が8月1日（金）～29日（金）、特別児童扶養手当が8月12日（火）～9月11日（木）です。各手当の新規申請は随時、受け付けています。詳しくは、お問い合わせください。

問　**こども家庭課**☎21-9844

ひらつかシングス

今回のテーマは「まちの魅力を写す」です。アマチュアカメラマンの井手孝治さん（右写真）をクローズアップ。独自の視点で平塚のまちを撮影する井手さんが「こんな素敵な風景があったか！」と、市内の新たな魅力に気付かせてくれます。SCN湘南チャンネル。毎週土曜日、午後7時30分～7時45分。毎週日曜日、午後1時45分～2時。YouTube市公式チャンネルでも配信します。

問　**広報課**☎21-8761

湘南バンク（久領堤5-1）。

問　**事業課**☎21-3935

市文化祭公募展に出展しませんか

10月の市文化祭公募展で、美術館（西八幡1-3-3）に作品を展示します（上写真）。①書道②写真③絵画・彫刻の3部門で、未発表作品に限ります。

市内在住・在勤・在学で、②③は中学生を除く15歳以上の方（①は小・中学生も出展できます）。各部門1,000円（小・中学生は除く）。詳しくは、市ウェブや本館7階社会教育課にある開催要項・応募規定をご覧ください。

応募　作品と応募申込書などを、直接、①は10月7日（火）午前10時30分～正午（小・中学生は9月26日（金）までに、本館7階の社会教育課へ）②は10月12日（日）午前10時30分～正午③は19日（日）午前9時30分～11時に、**美術館**へ。問い合わせは社会教育課☎35-8123へ。

一緒に書こう

小・中学生の書道作品の制作支援

作品制作や相談などができます。

午後1時～5時。Ⓐ8月5日（火）・24日（日）、9月2日（火）。中央公民館（追分1-20）Ⓑ8月3日（日）・19日（火）、9月7日（日）・16日（火）。八幡公民館（西八幡1-10-22）。

応募　参加前に、電話で、**平塚書道協会の森**☎090-9959-5864へ。

戦争体験を聞く会

平塚空襲で被害に遭った市内。現明石町付近（米国立公文書館蔵）

戦争体験を基にした紙芝居「かわいそうなゾウ」や戦争体験者の話を通して、平和を考えませんか。

8月23日（土）午前10時～11時30分。福祉会館（追分1-43）。市内在住・在学の小・中学生10人（先着順・小学生は保護者同伴）。

応募　8月4日（月）午前8時30分から、**必要事項**・年齢・講座名を、電話・ファクス・メールまたは直接、**福祉会館**☎33-2333FAX33-6588kaikan@hiratsukasyakyo.netへ。

健康と福祉

応募方法は4面

ららぽーと乳がん検診

乳がんの早期発見のため、検診を受けませんか。

10月29日(水)午前10時～午後2時。荒天中止。ららぽーと湘南平塚(天沼10―1)。市内在住で40歳以上の女性30人(先着順)。2000円。

応募　8月1日(金)午前8時から、市ウェブで、応募してください。問い合わせは**健康課☎55―2111**へ。

未来に備えるための終活講座

終活の悩みを解決しませんか。終活ガイドブックやエンディングノートの配布もあります。

9月8日(月)午後1時30分～4時30分。ひらしん平塚文化芸術ホール(見附町16―1)。市内在住の方100人(先着順)。

はじめての終活講座・終活の基本　午後1時35分～2時5分。

「墓じまい」の進め方・お墓選びの新常識　午後2時20分～3時5分。

終活個別相談会　午後3時10分～4時30分。

応募　8月4日(月)から、e で応募してください。問い合わせは**高齢福祉課☎21―9621**へ。

短期講習　赤十字の健康生活支援

高齢者を支援する方に向けた講習です。高齢者が自立した日常生活を送るのに必要な方法や、無理のない車いすの操作などを学びます。

9月6日(土)午前9時30分～11時30分。福祉会館(追分1―43)。中学生を除く15歳以上の方20人(抽選、市内在住・在勤・在学の方を優先、5人に満たない場合は中止)。筆記用具。動きやすい服装と運動靴でお越しください。

応募　8月4日(月)～20日(水)に、**必要事項**を、はがき・メールで、**福祉総務課☎21―9862** ✉fukushi@へ。

身体障がい者の義肢・装具などの相談

（手話通訳）社会生活に必要な、義肢・装具・車いすの同型再作製、修理の相談ができます。完成までに3回程度来ていただく場合があります。本人がお越しください。要約筆記もあります。

8月28日、9月25日、10月30日、11月27日の木曜日、午後1時～3時30分(再作製の受け付けは3時まで)。福祉会館(追分1―43)。身体障がい者手帳を持っている18歳以上の方。身体障がい者手帳・マイナンバーが確認できるもの・現在使っている補装具など。

応募　土・日曜日と祝日を除く各開催日の前日(手話通訳・要約筆記は1週間前)までに、**必要事項**・ファクス番号・希望日時・装具の種類・再作製か修理かを、電話・ファクスまたは直接、本館1階の**障がい福祉課☎21―8774** FAX21―1213へ。

点訳基礎講習会

点字を覚えて、点訳の基礎を学びます。視覚障がい者への理解を深めませんか。

9月23日を除く、9月9日～10月14日の火曜日、全5回、午前10時～正午。福祉会館(追分1―43)、10月14日は平塚盲学校(追分10―1)。市内在住・在勤・在学の方15人(先着順)。筆記用具。600円。

応募　8月4日(月)午前8時30分から、電話または直接、**福祉会館☎33―0007**へ。

講座　人生会議を知っていますか

自分の人生観・価値観を再認識しませんか。最期の時に大事に思うことなど、カードゲーム「もしバナゲーム」を通して考えを整理します。

8月29日(金)午前9時30分～11時30分。福祉会館(追分1―43)。市内在住で60歳以上の方20人(抽選)。

応募　8月4日(月)午前8時30分～15日(金)午後5時に、**必要事項**・年齢・講座名を、電話・ファクス・メールまたは直接、**福祉会館☎33―2333** FAX33―6588 ✉kaikan@hiratsukasyakyo.netへ。

家族介護リフレッシュ

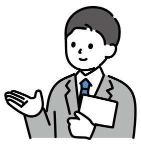
腰痛肩こり予防プログラムで、日頃の疲れを癒やしませんか(写真)。介護者同士で交流や情報交換もできます。

市内在住で家族の介護をしている方。抽選。

8月	時間	会場	定員
8日(金)	午前9時30分～11時40分	福祉会館(追分1–43)	12人
	午後1時30分～3時40分		9人
13日(水)	午前10時～午後0時10分	港ベイサイドホール(夕陽ケ丘66–1)	6人
14日(木)	午前9時30分～11時40分	リフレッシュプラザ平塚(大神4–20–8)	6人
18日(月)	午前9時30分～11時40分	福祉会館	12人
	午後1時30分～3時40分		9人
21日(木)	午前9時30分～11時40分	西部福祉会館(公所868)	9人

応募　土・日曜日と祝日を除く各開催日の3日前までに、電話で、**福祉会館☎33–3100**へ。

定額減税を補足する不足額給付が始まります



令和6年度の「調整給付金」の支給額に不足が生じる方へ、追加で給付をする給付金(不足額給付)です。次の①②に当てはまる方には7月下旬から案内を送っています。期限までに郵送で手続きしてください。①②に当てはまり、令和6年1月2日以降に市外から平塚市に転入した方などで市から案内が届いていない場合は、給付金コールセンターにお問い合わせください。給付の対象になる条件や申請の期限など、詳しくは市ウェブや各公民館にある案内をご覧ください。右の2次元コードからもアクセスできます。

①令和6年分の所得税または令和6年度分の住民税で定額減税しきれないことが確認できた方

②本人としても扶養親族としても定額減税の対象にならない方のうち、非課税世帯等向け給付の世帯主や世帯員でないことが確認できた方。

問　**給付金コールセンター☎0120–611–691**

給付金を装った振り込め詐欺などにご注意ください

↘は74歳以下で血圧が130/80mmHg以上の方が対象です。8月8日(金)午前9時30分～10時30分、27日(水)午後1時30分～2時30分

保健福祉総合相談

市 福祉総務課☎21-8779

●**来所・電話**　月～金曜日、午前8時30分～午後5時

成年後見利用支援センター

平塚栗原ホーム(立野町31-20)☎35-6175

●**来所・電話**　月～金曜日、午前8時30分～午後5時

子ども・教育

子育て支援センター

豊田分庁舎(南豊田381)☎FAX34-9076

●**未就学児対象の子育て相談・情報提供**　月～金曜日、午前10時～午後3時

こどもの総合相談ヤングケアラーなど

市 こども家庭課☎21-9843

●**こども総合相談**　月～金曜日、午前8時30分～午後5時

●**母子・父子相談**　月～金曜日、午前10時15分～午後5時

教育相談・就学相談

子ども教育相談センター崇善小学校北側(浅間町4-39)☎36-6013

●**来所**(予約制)　月～金曜日、午前10時～午後5時

●**電話**　月～金曜日、午前9時～午後5時

青少年相談室

青少年会館(浅間町12-41)☎34-7311

●**青少年相談**　火～土曜日、午前10時～午後6時30分

●**ヤングテレホン相談**(青少年専用)☎33-7830　火～土曜日、午前10時～午後6時30分

●**メール相談**(青少年・保護者など)　返信に数日かかることがあります。✉y-soudan@

こどもの発達相談

こども発達支援室くれよん(追分1-43)☎32-2738

●**来所**(予約制)　月～金曜日、午前8時30分～午後5時

就労・経営

経営・創業・副業相談

市 産業振興課 ☎21-9758

●**来所**(予約制)　第2・4金曜日、午前9時30分～午後4時30分

中小企業などの金融相談

市 産業振興課 ☎21-9758

●**来所**　市内の中小企業や市内で創業を考えている方に、融資制度の情報を案内します。月～金曜日、午前9時30分～午後4時30分

発明相談

勤労会館(追分1-24) ☎32-3355

●**来所**(予約制)　第3月曜日、午後1時～4時

事業承継相談

市 産業振興課 ☎21-9758

●**来所**(予約制)　第1水曜日、午前9時30分～午後4時30分

子育て支援企業応援アドバイザー

市 産業振興課 ☎21-9758

●**専門家派遣**(予約制)　市内の中小企業が対象です。1回2時間・年4回まで。

就労相談

勤労会館(追分1-24)☎32-3355

●**来所**(予約制・先着4人・1人50分)　8月13日(水)午後1時～4時50分

スポーツ

応募方法は4面

3人制バスケットボールを観戦しよう

3人制バスケットボールのプロリーグ「3×3・EXE PREMIER JAPAN」が開かれます。3人制バスケットボールならではの、スピーディーな試合を観戦しませんか。時間など、詳しくは同リーグのウェブをご覧ください。

8月16日(土)。トッケイセキュリティ平塚総合体育館(大原1―1)。

問 **総合公園管理事務所**☎35―2233

力士と相撲を取ろう

3～5人一組で、高砂部屋の力士に挑みます。ちゃんこの試食もあります。

8月30日(土)午前10時30分。総合公園相撲場(大原1―1)。市内在住の小学生30人(抽選)。

応募 8月1日(金)午前8時30分～15日(金)午後5時15分に、**必要事項**を、はがきで、〒254―0045見附町31―10**まちづくり財団スポーツ事業課**☎35―0102へ。同財団ウェブからも応募できます。

スポーツ教室

会場は①～⑧がトッケイセキュリティ平塚総合体育館(大原1―1)⑨～⑭がひらつかサン・ライフアリーナ(中堂246―1)。抽選。

①ZUMBAを楽しもう 9月20日～12月20日の土曜日、全9回、午前9時30分～10時45分。60人。3600円。

②すっきり・のびのび体操 9月24日～11月26日の水曜日、全10回、午前9時20分～10時50分。70人。5000円。

③楽らくヨガ 9月18日～11月20日の木曜日、全10回、午前9時20分～10時50分。70人。5000円。

④ウイークエンドヨガ 9月6日～11月15日の土曜日、全8回、午前11時10分～午後0時40分。70人。4000円。

⑤水曜太極拳 9月10日～11月26日、全12回、午前9時20分～10時50分。70人。6000円。

⑥はつらつ水中体操 9月24日～11月12日の水曜日、全7回、1コースは午前10時～10時45分、2コースは午前11時15分～正午。各40人。3500円。

⑦アクアビクス 9月11日～11月13日の木曜日、全8回、午前10時25分～11時25分。40人。5600円。

⑧水泳 9月9日～10月28日の火・金曜日、全12回、午後6時30分～8時。30人。8400円。

⑨バドミントン 9月16日～12月2日の火曜日、全10回、午前9時30分～正午。70人。5500円。

⑩卓球 9月3日～10月29日の水曜日、全7回、午後7時30分～正午。100人。4900円。

⑪男性・女性フットサル 9月4日～10月30日の木曜日、全7回、午後7時15分～8時45分。各20人。3000円。

⑫スポーツウエルネス吹き矢 9月25日～11月20日、全6回、午前9時30分～11時。30人。3000円。

⑬ノルディックウオーキング 9月25日～11月20日の木曜日、全6回、午前11時～午後0時30分。30人。3000円。

⑭ZUMBAをやってみよう 陽気なリズムに乗せて、楽しくダンスエクササイズをします。9月17日～11月26日の水曜日、全6回、午後1時30分～2時45分。20人。3300円。

応募 8月1日(金)～15日(金)に、教室名・**必要事項**・年齢を、はがきで、〒254―0045見附町31―10**まちづくり財団スポーツ事業課**☎35―0102へ。同財団ウェブからも応募できます。

オールスターナイト陸上

実業団と学生の、トップレベルの選手らが出場します。

8月9日(土)午後3時開会式、8時20分閉会式予定。レモンガススタジアム平塚(大原1―1)。

問 **総合公園管理事務所**☎35―2233

イーハトーブ レディース駅伝の出場チームを募集

昨年度の大会

15㌔を5区間に分けて走ります。平塚市の代表1チームを募集します。岩手県花巻市は、詩人で童話作家でもあった宮沢賢治がこよなく愛した生誕の地です。賢治が夢に描いた理想郷・イーハトーブ花巻の大自然の中を走りませんか。5万円を上限に、交通費の一部や大会参加料を補助します。

10月4日(土)午後5時30分から前夜祭、5日(日)午前10時大会開始・正午に表彰式。高体連陸上専門部・学連・実業団連盟の登録選手を除く、市内在住・在勤・在学で16歳以上の女性7人一組(抽選・補欠2人を含む)。

応募 8月1日(金)～8日(金)に、電話で、**文化・交流課**☎25―2520へ。

広げよう #あったかひらつか

「イシックス馬入のお花畑」のひまわり畑

投稿者@mari38photoさん

Instagramに「#あったかひらつか」を付けて投稿された写真を紹介しています。皆さんも、平塚の「あったかい」「それもあったか」な魅力を、Instagramで紹介しませんか。#あったかひらつかを付けて投稿してください。

問 **広報課**☎21―8556

みんなの相談

㊐は市役所本館が会場です。予約制の相談は、各担当課にお問い合わせください。内容など、詳しくは市ウェブをご覧ください。

市民生活

市民相談室

㊐**市民情報・相談課** ☎21―8764

予約制の相談は9月分まで受付。

●**市民生活** 月～金曜日、午前8時30分～11時30分・午後1時～4時30分

●**弁護士**(予約制・オンライン相談あり) 水・木曜日、午後1時～4時

●**行政** 第1月曜日、午後1時～3時30分

●**税理士**(予約制) 第4金曜日、午後1時～4時

●**司法書士**(予約制) 第2金曜日、午後1時～4時

●**測量・境界**(予約制) 偶数月の第2金曜日、午後1時～4時

●**多重債務**(予約制) 第2火曜日、午後1時～4時

●**社会保険労務士**(予約制) 偶数月の第2火曜日、午後1時～4時

●**行政書士**(予約制) 第1火曜日、午後1時～4時

●**不動産**(予約制) 第1・3金曜日、午後1時～4時

●**分譲マンション管理**(予約制) 第4月曜日、午後1時～4時

●**住宅**(新築・リフォーム・予約制) 第3火曜日、午後1時～4時

消費生活センター

㊐**市民情報・相談課**☎21―7530(相談専用)

●**来所・電話** 月～金曜日、午前9時30分～午後4時

外国籍市民相談
Free Consultation for Foreign Residents

㊐**文化・交流課**☎25―2520

●**来所** 17の言葉で相談できます。相談できる日と時間は、市のウェブを見てください。

出入国管理・在留資格相談
Immigration Control and Residential Status Consultations

㊐**文化・交流課**☎25―2520

●第4火曜日の午前9時～12時に、市役所で相談できます。予約をしてください。

女性のための相談

㊐**人権・男女共同参画課** ☎21―9611(相談専用)

●**来所・電話** 月～金曜日、午前9時30分～午後4時

人権相談

㊐**人権・男女共同参画課**☎21―9861

●**来所** 8月19日(火)午後1時～3時

健康・福祉

高齢者健康相談(フレイル)

㊐**保険年金課**☎72―7266

●**来所**(予約制)・**電話** 65歳以上の方が対象です。月～金曜日、午前9時～午後5時

経済的な悩み・ひきこもりなどの相談

㊐**くらしサポート相談**(本館1階128窓口)☎21―8813

●**来所・電話** 生活の不安や困り事を相談できます。月～金曜日、午前8時30分～午後5時

ヘルスアップ相談・高血圧予防相談

保健センター(東豊田448―3)☎55―2111

●**来所**(予約制) 高血圧予防相談↗

ヒラツカルチャー

hiratsu-culture

必要事項＝郵便番号・住所・氏名（ふりがな）・電話番号。メールで応募する場合は㊣@以下にcity.hiratsuka.kanagawa.jpを付けてください。e＝電子申請システム（e-kanagawa）でも応募できます。右の2次元コードからアクセスできます。

美術館

〒254-0073 西八幡1-3-3 ☎35-2111 FAX35-2741 休4・12・18・25・9月1日

原良介　サギ子とフナ子光のそばで　9月15日（祝）まで。展示室2。900円、高校生・大学生500円。

アーティストトーク　8月24日（日）午後2時～3時。展示室2。観覧券。

よみがえる絵画　修復された川村清雄、藤田嗣治、鳥海青児…（後期）　修復後のさまざまな絵画作品を、修復過程が分かる資料と共に展示します。9月7日（日）まで。展示室1。200円、高校生・大学生100円。

びじゅつかんであそぼ@てんじしつ　展示作品をイメージした段ボールの家や、パズル、絵本、塗り絵などで遊べます。9月7日（日）まで。午前9時30分～午後4時30分。展示室1。観覧券。

中央図書館

〒254-0041 浅間町12-41 ☎31-0415 FAX31-9984 休4・12・18・25・9月1日

特集展示　8月1日（金）～31日（日）。①平塚の戦争　平和を考える　参考室②本で食す・考える米　貸出室③夏休み！　たのしいことといっぱい　こども室④平和の本　貸出室・こども室⑤鳥の本　1階ロビー。

ブックスタート　読み聞かせをしながら絵本の楽しみ方を話します。絵本などが入ったブックスタートパックをプレゼントします。各図書館。市内在住で1歳未満の子どもと保護者。中央図書館では予約なしで参加できる、読み聞かせなしの個別ブックスタートもあります。詳しくは、図書館ウェブをご覧ください。

夏の子ども向け平和映画会　『ちいちゃんのかげおくり』『アストロボーイ鉄腕アトム』を上映します。8月23日（土）午前9時30分～10時30分。3階ホール。70人（当日先着順・午前9時に開場・未就学児は保護者同伴）。

クイズ王が出題　図書館でクイズに挑戦！　本や図書館のクイズを解き、勝ち抜いた方を図書館クイズ王として表彰します。9月13日（土）午後2時～3時30分。3階ホール。市内在住・在学の小学校4～6年生と保護者16組（抽選・一組3人まで）。飲み物。

応募　8月1日（金）～20日（水）に、講座名・代表者の**必要事項**・全員の氏名（ふりがな）・学校名・学年・人数・好きな本を、メールで、**中央図書館**☎31―0428 ㊣library@へ。

平和の紙芝居上演会　8月10日（日）午後1時～3時。3階ホール。40人（当日先着順）。

博物館

〒254-0041 浅間町12-41 ☎33-5111 FAX31-3949 休4・12・18・25・9月1日

夏期特別展　湘南ロケッティア　神奈川大学と東海大学の学生が開発した、ハイブリッドロケットを紹介します。9月7日（日）まで。特別展示室。

学生による展示解説　午後1時～1時30分。特別展示室。①神奈川大学　8月17日（日）②東海大学　31日（日）。

水ロケットを打ち上げよう　8月6日（水）午前9時～10時30分。荒天中止。屋上。

平塚空襲展　80年前の空襲の記憶　9月4日（木）まで。寄贈品コーナー。

平塚空襲から80年「きく」こと、そして語り続けるために　空襲体験者の話を聴き、平塚空襲を考えます。8月17日（日）午後1時30分～3時30分。講堂。60人（当日先着順・1時に開場）。

ポスト特別展「近代ひらつかの女性たち」ダイジェスト　8月3日（日）まで。情報コーナー。

野辺山天文台展in平塚　日本の電波天文学の聖地「野辺山」を紹介します。8月7日（木）～11月3日（祝）。情報コーナー。

プラネタリウム　各50分。各70人（当日先着順・投影日の午前9時から博物館の受付で整理券を配布）。①～④は200円、18歳未満と65歳以上の方は無料。65歳以上の方は年齢の分かるものをお持ちください。

①**一般向け　夏の大三角のひみつ**　8月31日までの水・木・土・日曜日、午前11時・午後2時（土曜日は2時だけ）。

②**幼児向け　おほしさまだいすき！　サンとムーン**　8月30日までの土曜日、午前11時。

③**特別投影　星空散歩**　8・9月に見やすい星座や天文現象を紹介します。8月2日（土）午後3時30分。

④**特別投影　リフトオフ！ロケット打ち上げを見よう**　8月3日（日）・9日（土）・23日（土）、午後3時30分。

⑤**プラネタリウム講演会　ハイブリッドロケットの開発**　大学生が自らのロケット開発などを大スクリーンで解説します。午後3時30分。①神奈川大学　8月17日（日）②東海大学　31日（日）。

学芸員が語る相模の家の暮らし　お盆　8月10日（日）午後1時15分～1時35分。展示室内「相模の家」。

古生物ペーパークラフト　8月10日（日）・21日（木）、午後1時30分～4時。講堂。

ろばたばなし　8月24日（日）午後3時15分～3時45分。展示室内「相模の家」。

星を見る会　土星と秋の星を見よう　9月19日（金）午後7時～8時30分。雨天曇天中止。屋上。80人（抽選）。

応募　9月5日（金）までに、イベント名・全員の**必要事項**を、往復はがき（1通で4人まで）で、**博物館**へ。eは7日（日）まで。

博物館のとびら　好きを見つける7日間　平塚の文化・歴史・自然を学びます。9月14日、10月5日、11月2日、12月7日、令和8年1月11日、2月1日、3月1日の日曜日、全7回、午前10時～11時30分（令和7年9月14日は9時30分から）。講堂。小学校3年生～中学生20人（抽選・市内在住の方を優先）。

応募　9月1日（月）までに、eで応募してください。

美術館であそぼ！

8月9日（土）～11日（祝）
午前10時～午後3時
（正午～午後1時を除く）

市民アートギャラリーやミュージアムホールを開放して、たくさんのワークショップが体験できるお祭りを開きます。作家や中学生・高校生ボランティアとのワークショップ（上写真）を楽しみませんか。市内の学校で開いている「対話による美術鑑賞」（下写真）も体験できます。ワークショップの内容など、詳しくは美術館ウェブをご覧ください。

問　美術館☎35-2111

ひらしん平塚文化芸術ホールへ行こう

湘南バレエ・コンペティション

ひらしん平塚文化芸術ホール　見附町16―1　☎20―9273

9月12日（金）～15日（祝）に「①湘南バレエ・コンペティション」を大ホールで開きます。小学校2年生から大人までのダンサーがエントリーし、クラシックバレエ部門（左写真）とコンテンポラリーダンス部門に分かれて踊り、競い合います。近年では若手の登竜門と言われる国際的なバレエコンクールの入賞者も出場し1位を受賞するなど、全国的にも話題になっています。12日にはワークショップ（応募者以外は見学不可）、15日には前年度受賞者によるエキシビション公演もあります。会場ではバレエにちなんだグッズなどを全国から取りそろえたマルシェも楽しめます。この機会に、バレエの世界に触れてみてはいかがでしょうか。

関連イベントとして「②楽しく体を動かそう！　親子でダンス体験」（上写真）を開きます。音楽に合わせて体を動かす楽しさを体験しませんか。

②は9月12日（金）午後2時30分～3時30分。3～6歳の子どもと保護者10組（先着順・一組3人まで）。靴下・タオル・飲み物。一組1,000円。動きやすい服装でお越しください。

応募　8月5日（火）午前10時から、**ひらしん平塚文化芸術ホール**のウェブで、応募してください。

広報紙をより良くするためにウェブアンケートをしています。右の2次元コードからご意見をお寄せください。